

第5学年 国語科学習指導案

平成28年6月24日（金）第5校時

1 単元名・教材名 聞き出そう！広めよう！友達の魅力

「きいて、きいて、きいてみよう」

2 児童の実態と本単元の意図

児童の実態

これまでに「よい聞き手になろう」「だれもが関わり合えるように」「聞き取りメモの工夫」で話の中心に気を付けて聞き、前の人発言を受けて質問をしたり、自分の経験と照らし合わせて感想を述べたりすることについて学習してきた。また、4月には「教えて、あなたのこと」で、友達にインタビューを行い、特に心に残ったことを一文にまとめて紹介する活動を行った。

（一部省略）

付けたい力

- ・話し手の応答に合わせて、臨機応変にインタビューし、聞き出した内容を深める力。(話すこと・聞くことエ)
- ・聞き出した情報から関連して考えたことを整理してまとめ、目的に応じて報告する力。

(話すこと・聞くことエ)

教材の特徴

「話し手」「きき手」「記録者」の役割に分かれてインタビューすることで、様々な「きく」を経験することに適した教材である。

事実や知識を引き出すだけでなく、話し手の人となりや思いを引き出す力を付けることを目指す本教材は、他教科や学校行事、特別活動とも関連付けて、「話す」「聞く」力を主体的に伸ばすことができる。

自分の考えを深め主体的な学びを展開するための指導の工夫

「聞き出そう！広めよう！友達の魅力」という単元を、林間学校と関連させて計画した。バスレクの中で他の人が知らない友達の新たな一面を紹介する「〇〇は誰でしょうクイズ」をし、さらに「こんな〇〇さんは、林間学校の～で活躍してくれるでしょう。」とスピーチする活動をゴールに設定した。児童が楽しみにしている学校行事と関連させ意欲を喚起したい。

本単元で目指す児童の姿

- 話し手の魅力を引き出すという目的に沿って内容を深めるインタビューをすることができる。
- 聞き出した情報をもとに、友達の魅力を目的に応じて紹介することができる。

3 研究テーマと関わり

「自分の考えを深め、主体的な学びに向かう児童の育成」

～学ぶことの嬉しさを実感できる授業の創造～

(1) 「課題解決的な単元展開による授業と評価の工夫をすることで、単元の見通しをもって主体的に学ぶことができる。」に迫るための手立て

- ・林間学校と関連付けて単元を組み立てる。「友達との仲を深めよう」という林間学校のめあてと関連付け、バスレクで「〇〇は誰でしょうクイズ」をすることをゴールに設定した。そうすることで「誰も知らない友達の新たな魅力を引き出す」という必要感が生まれ、わくわくした気持ちで主体的な学びに向かうことができると考えた。児童は、「クイズをつくる」というゴールに向かって、よりよいインタビューの仕方を学び、「友達の魅力を引き出す」という課題を解決しながら「きく」力を伸ばすことができるであろう。
- ・教師が動画でモデルを示すことで、ゴールを明確化し、意欲を喚起させたい。

(2) 「各教科で一人学び、交流の場、振り返りの場の取り入れ方を工夫することで、自分の考えを深め、思考力・表現力を高めることができる。」に迫るための手立て

- ・一問一答のインタビューにならず、友達の新たな魅力を引き出すインタビューができるよう、相手の回答を想像しながら、各々で質問の準備をする時間を確保する。主な質問と、それに付随し話を深めたり広げたりする質問は、色を変えた付箋に書き出し、順番を入れ替えたり、取捨選択したりするなどして整理しやすくする。
- ・タブレットを用い動画で「話し方・きき方」を振り返る方法を取り入れることで、自分の課題に気付き改善につなげる力を付けさせたい。単元の初めと、インタビューの仕方を学んだ後に自分の姿を撮影し、「友達の魅力を引き出す」というめあてにどれだけ迫っているか確かめさせる。児童は、単元を通して自分の「きく」力の伸びを確かめることができ、学ぶことの嬉しさを実感することができるだろう。
- ・インタビューの振り返りでは、グループで一枚のシートによかった点と改善点を付箋を使って出し合わせ、主体的に学ぶ力を付けさせたい。
- ・学習のゴールをクイズで終わらせず、「こんな〇〇さんは、林間学校のこんな場面で活躍してくれるはずですよ！」というスピーチで締めくくるとする。聞き出した情報をもとに目的に応じて友達の魅力を紹介する中で、思考力・表現力を高めたい。

(3) 「学習環境を整備することで、安心して生き生きと学び、規律ある態度と基礎基本を身に付けることができる。」に迫るための手立て

- ・語彙を増やし生き生きとインタビューができるよう、「話を受ける」「話を広げる」「話題を変える」ときの言葉を紹介し、ガイドブックにまとめる。ガイドブックで確かめることで安心してインタビュー活動ができるようにする。
- ・タブレットを用いてインタビューの様子を記録すると見直すことが可能になるので、書くことが苦手な児童も安心して「きいてメモする」活動に臨むことができる。

4 単元の目標

- (1) 目的や状況を意識して聞こうとしている。 〈関心・意欲・態度〉
 (2) 話し手の応答に合わせて、臨機応変にインタビューすることができる。 〈話すこと・聞くこと〉
 (3) 収集した情報を自分の考えと照らし合わせて、目的に応じてまとめることができる。 〈話すこと・聞くこと〉
 (4) 話を詳しく聞き出すために必要な言葉を理解し、使い方に慣れることができる。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

5 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
単 元 の 評 価 規 準	・目的を意識し、「話し手」「きき手」「記録者」の役割に合った聞き方をしようとしている。	・相手の応答を受けて、友達の新たな一面を引き出すために、どのように質問をつなげたらよいか考えている。	・話を詳しく聞き出すために必要な言葉を理解している。
学 習 活 動 に 即 し た 評 価 規 準	①インタビューすることに興味をもち、友達のよさを引き出す質問を考えようとしている。 ②それぞれの役割の「きく」活動を通して気付いたことを発表しようとしている。	①友達の人柄を引き出すような質問を考え、書き出している。 ②インタビューが一問一答で終わらないよう、「理解したことを確かめる」、「話題を広げて深める」などを使い分けて質問している。 ③インタビューしたことに自分の考えを加えて、まとめている。	①インタビューの中で「話を受ける」「話を広げる」「話題を変える」ときの言葉を使っている。

6 指導と評価の計画（全6時間）

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1	<p>第一次 単元の見通しを持つ</p> <p>○教師がクイズを出し、インタビューして聞き出した友達の魅力をクイズにし、スピーチでクラスに広めることが単元のゴールであることを知る。</p> <p>○四人組（話し手、きき手、記録者、カメラマン）でインタビューし合い、うまくいった点と、うまくいかなかった点を発表する。</p> <p>○「きく」とはどんなことか考える。</p>	<p>○学習課題の把握</p> <p>○インタビューのポイント</p> <p>○「きく」ことの考察</p>	<p>ア① 発表の様子やインタビューの取組への観察</p>

	○教師のモデルのインタビューの動画を見て、課題を確かめ、単元計画をもとに見直しをもつ。	○単元の見直し	
2	第2次 よりよいインタビューの仕方を理解し、活用する。		
	○教師を「インタビューされる人」と設定し、イメージマップを学級全体で作る。 ○友達によさが引き出せそうな質問を考えイメージマップを作る。 ○詳しく聞きたい質問を絞り、さらに話が深まる質問を考え整理する。	○イメージマップの作り方 ○質問の選択 ○深める質問の書き出しと整理	ア① イ① ・発表の様子の観察 ・ワークシートへの記述内容の考察
3 ・ ④ 本 時	○「話し手」「きき手」「記録者」が気を付けることや、記録の仕方を確認する。 ○四人一組で役割を交代しながらインタビューをする。 ○インタビューを振り返り、うまくできた点や、改善点を確かめる。	○インタビューのポイント ・「受ける」 ・「広げる」 ○インタビューの実践 ○インタビューの振り返りの方法	イ② オ① ・インタビューの観察 ・ワークシートへの記述内容の考察 ・撮影した動画での考察
5	○記録をもとに、クイズとスピーチをつくる。	○収集した情報と自分の考えの関連付け	ア② イ③ ・発表の様子の観察 ・ワークシートへの記述内容の考察
6	第3次 単元を振り返り、身に付いたことを確かめる。		
	○動画記録をもとに、よくできているインタビューの一部を全体で確認する。 ○最初の自分の「きく」と第三次の「きく」を動画で見比べてまとめる。	○よいインタビューのポイント ○学習前後の変容	ア② ・発表の様子の観察 ・ワークシートへの記述内容の考察
事後	○林間学校のバスレクで友達の魅力を伝えるクイズとスピーチをする。	○実生活への生かし方	

7 本時の学習指導（本時4／6時）

（1）目標

話を深める質問をして、友達の新たな一面を聞き出すインタビューができる。

（話すこと・聞くこと）

(2) 評価規準

イ 話す・聞く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
インタビューが一問一答で終わらないよう、「理解したことを確かめる」、「話題を広げて深める」などを使い分けて質問している。	インタビューの中で「話を受ける」「話を広げる」「話題を変える」ときの言葉を使っている。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 本時の課題を確認する。	○学習課題の把握 ○学習の見通し	・学習計画をもとに、本時の課題を確認する。	2
話を深める質問をして、友達の新たな一面を引き出すインタビューをしよう。			
2 インタビューのポイントを確認する。	○インタビューのポイント <話し手> ・意図が分からないときは聞き返す。 <きき手> ・話の流れに沿って質問する。 ・相手がまだ話していないことを引き出す質問をする。 <記録者> ・メモをとり、インタビューを終えて気が付いたことを伝える。 <カメラマン> ・タブレットで動画を撮影し、客観的にみる。	・教師がモデルとなってインタビューしている動画を見ながら確かめる。 ・ガイドブックをみて、「話を受ける」「話を広げる」「話題を変える」ときの言葉を確認し、さらに児童が使えるような言葉を見つけたら、書き加える。 ・カメラマンがタブレットで動画を撮影し、振り返りに生かしたり、メモしきれなかったときに見直したりすることを確認する。 ・今回は、きき手を重点的に見ていくことを確かめる。	7
3 「話し手」「きき手」「記録者」「カメラマン」に分かれて役割を交代しながら、順番にインタビューする。(一人終わるごとに、インタビューを振り返る時間をとる。)	○質問の構成の工夫 ・受ける ・広げる ・深める ○適切な言葉遣い	・主な質問と、相手の応答を予想してそれを深める質問を色の違う付箋にいくつも書き出して用意しておき、臨機応変に質問できるようにしておく。 ・一つの質問を掘り下げる言葉を使っていた児童を紹介し、称賛する。	30

	○よい点と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・きき手のよい点を記録者から報告させる。 ・グループ内で良い点や改善点を付箋を使って出し合い、シートにまとめ、確かめさせる。 	
<p>評価場面</p> <p><学習内容に即した評価規準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューが一問一答で終わらないよう、「理解したことを確かめる」、「話題を広げて深める」などの言葉を使い分けて質問している。 イ② ・インタビューの中で「話を受ける」「話を広げる」「話題を変える」ときの言葉を使っている。 オ① <p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの観察 ・撮影した動画での考察 <p><手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問をひろげることができない児童には、「インタビュアーのこつ」の話題を変える言葉を思い出させ、事前に用意した他の質問をするよう助言する。 ・付箋をもとに質問を深めている児童には、友達の答えをまとめて返す聞き方をするよう助言する。 			
4	本時のまとめと振り返りをする。	<p>○課題に対する振り返りの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと ・気が付いたこと <p>○次時の学習内容の確認</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に今日学んだことを記入する。 ・次回は、今日のインタビューをメモにおこし、クイズとスピーチを作ることを伝え意欲を高めさせておく。

8 板書計画

<p>☆振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったことや気がついたこと 	<p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の言葉を受けて質問ができた。 ・一問一答で終わらず、広げたり深めたりする質問ができた。 	<p>○記録者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉をメモして報告する <p>○カメラマン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きき手を中心に撮影する 	<p>☆インタビューのポイント</p> <p>○話し手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図が分からないときは聞き返す <p>○きき手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の流れに沿ってきく ・相手がまだ話していないことを引き出す 	<p>話を深める質問をして、友達の新たな一面を引き出すインタビューをしよう。</p>	<p>きいて、きいて、きいてみよう</p>	<p>六月二十四日</p>
--	---	--	---	--	-----------------------	---------------